

北区新庁舎新築基本設計 中間報告説明会 実施報告

【はじめに】

区では、新庁舎建設に向けて、令和５年度から「北区新庁舎新築基本設計」（以下「基本設計」という。）に取り組んでいます。

区民の皆さまと意見交換を行うための設計プラン等をまとめ、令和７年８月に全１０回の教室型・オープンハウス型の説明会を実施しましたので、その結果を報告いたします。

【中間報告説明会の実施概要】

<日時・会場・参加者数>

■教室型(オープンハウス型説明会も実施)

日時	会場		参加者数	
８月６日（水） 19：00～20：00	赤羽会館	大ホール	34 人	111 人
８月１６日（土） 16：00～17：00	滝野川会館	小ホール	33 人	
８月２３日（土） 11：00～12：00	北とぴあ	第二研修室	44 人	

■オープンハウス型説明会

日時	会場		参加者数	
８月５日（火） 14：00～16：30	東田端 ふれあい館	ホール A・B	16 人	1,412 人
８月９日（土） 10：00～17：00	コーナン 王子堀船店	２階エスカレーター 付近	220 人	
８月１７日（日） 10：00～17：00	イオンスタイル 赤羽	北側入口付近	298 人	
８月１８日（月） 10：00～19：00	イトーヨーカドー 赤羽店	１階催事場	605 人	
８月２０日（水） 13：00～19：00	金魚亭	-	60 人	
８月２１日（木） 14：00～16：30	赤羽北区民 センター	第二ホール	14 人	
８月２７日（水） 10：00～16：00	北区役所 第一庁舎	第一庁舎ロビー	199 人	

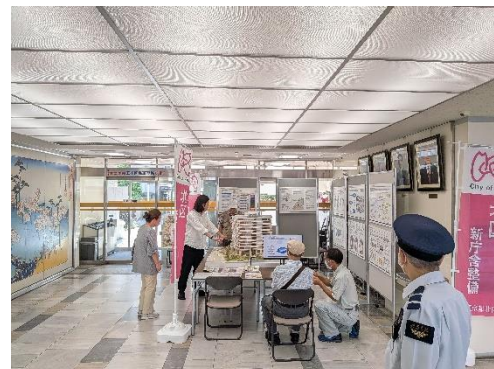
<いただいた主なご意見>

- ・新庁舎を楽しみにしている
- ・模型がわかりやすかった
- ・区民として誇れる新たなシンボルとしての新庁舎にしてほしい
- ・引き続き途中経過報告など意見交換の場を用意してほしい
- ・早く開庁してほしい
- ・バリアフリーを意識してほしい
- ・食堂を用意してほしい
- ・水害対策を徹底してほしい
- ・基本設計コンセプトがわかりにくい
- ・吹抜の効果をもっと知りたい

<教室型説明会の様子>

赤羽会館	
滝野川会館	
北とびあ	

＜オープンハウス型説明会の様子＞



<主な質問と回答（赤羽会館）>

日付	会場	参加者数
8/6	赤羽会館	34 人



Q：基本設計コンセプトのつながる「ジオガーデン」では、飛鳥山の連続性に配慮した崖線形状のグリーンインフラとありますが、具体的にはどのような内容になるのでしょうか。

A：緑を「保水・蒸散効果や生態系を育むインフラ」と捉え、飛鳥山の緑を新庁舎の方へ引き込み、繋げていきたいという考えを表しています。また、できる限り周辺の街区にもつなげられると良いと考えています。

Q：基本設計コンセプトにまちをささえる「ハピネスオフィス」とあって、職員が快適に執務できることを目指しており、それが区民サービスに繋がるということは理解できます。一方、区民にとっても使いやすいものである必要があると考えていますが、どのようにお考えでしょうか。

A：新庁舎建設の基本理念である「人と環境にやさしく、区民に開かれた北区のシンボル」をもとにしているため、区民にとっても使いやすいものであるこ

とは、大前提と考えております。今回は、それを支える 6 つの基本設計コンセプトを説明しましたが、伝わりにくいところのご指摘もいただいておりますので、今後も表現などを工夫していきたいと思っております。

Q：基本設計プランでは駐車場が地下に設置されていますが、水害時にどのような対応を想定されているのか、人や車の移動について、教えてください。

A：水害については、基本計画時から検討を継続しています。現在のプランでは、水害の大きさによって段階的な受け止め方があると考えています。ハザードマップの浸水想定では、石神井川は 50 cm 未満とされており、止水板の設置によって建物への浸水を防ぐことが可能です。荒川は 3m 未満とされておりますが、事前の予期が可能なため、人も車も事前に退避できると考えています。また、人のアプローチに関しては、浸水継続時間は 1 日未満なことで、2 階以上は浸水せず、3 階に接続予定のデッキ（防災バリアフリーネットワーク）による経路を想定しています。

<主な質問と回答（滝野川会館）>

日付	会場	参加者数
8/16	滝野川会館	33 人



Q：スケジュールについて、いつ開庁するのでしょうか。

A：いつ開庁するかという質問はよくいただきますが、現在は土地の取得や隣接する開発との調整を行っており、明確な回答をできず心苦しいところです。できる限り早く開庁できるように頑張っていきたいと考えています。

Q：基本設計プランについて、区議会は区民に近いところに配置して欲しい。

A：区議会の位置については、他自治体の事例から3つのパターンに分類できます。1つ目は別棟案です。これは、敷地が広い場合に可能ですが、本計画では採用が困難です。2つ目は1階案です。これは、比較的低層庁舎で採用されています。3つ目は最上階案です。これは、天井が高い議場を低層部や中層部に設置すると、建物構造のコストがより高くなることから、都心部にある多くの自治体で採用されています。以上より、本計画では区議会は最上階に設けています。

Q:基本設計プランについて、吹抜には屋根があるのでしょうか。吹抜をやめて、広い屋上庭園をつくってはどうか。

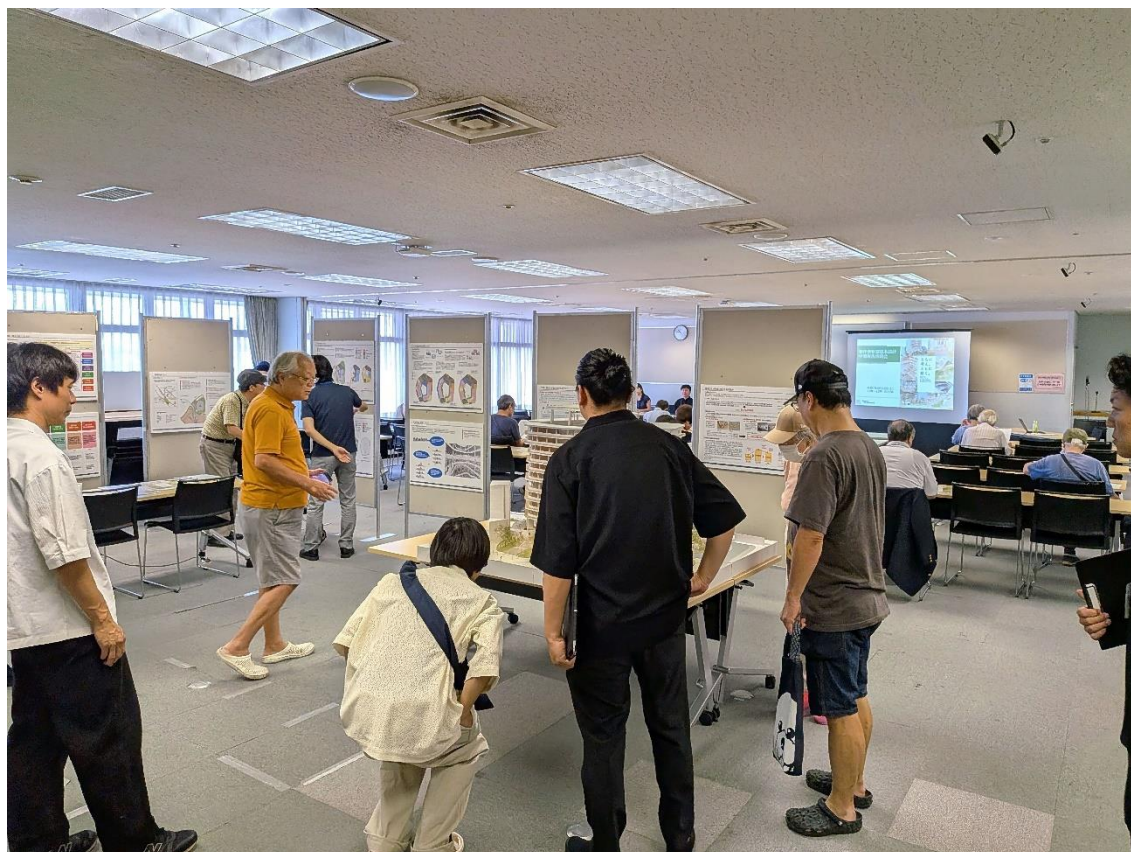
A:吹抜の最上部にはガラスの屋根があり、光や風は入るものの、雨や雪は入らないような構造になっています。吹抜の検討では、吹抜が無い案、吹抜が部分的な案、吹抜が外部に設けられた案などについて、快適性や有用性、コストなど様々な視点から専門家の協力も得ながら考え、現在の計画を提案しています。

Q:建設コストについて、基本計画時の315億円が、現在は535億円と約1.7倍になっています。基本計画時の315億円に抑えるために、規模を縮小してはいかがでしょうか。電子申請の進展による職員の削減やテレワークの増加を考慮すれば、規模の縮小も可能ではないでしょうか。

A:新庁舎の規模の設定は、令和4年度に策定した基本計画で決めました。その際、算定の基準となる職員数は、電子申請の進展やテレワーク増加も考慮して検討しました。そのため現時点では規模の縮小は考えておりません。なお、現状は想定よりも多くの職員が従事しています。

<主な質問と回答（北とぴあ）>

日付	会場	参加者数
8/23	北とぴあ	44 人



Q：素敵な計画になっているという印象を持ちました。王子駅前には、用事がないと立ち寄る場所が少ないと感じています。そのため、庁舎の低層部ににぎわいの場を設けていただけることには大変期待しています。あまり事務的な庁舎ではなく外に開けたデザイン性を意識していただけると、にぎわいにも貢献して頂けるのではないかと思います。そういった感想をもつ中で、デッキの下にジオガーデンがあることや、グリーンをつながりをもどのように作るのか教えていただけないでしょうか。

A：にぎわいの場については、用事がなくても立ち寄れる場所を含め、誰もが心地よく感じられるように検討を進めています。デッキ（防災バリアフリーネットワーク）は浸水しない高さがあり、かつ車がその下を通れる高さにする必要があります。デッキの下にジオガーデンがありますが、デッキとジオガーデンをつなぐ動線の設置も検討しています。

Q：低層部のにぎわい創出機能については、場所を用意するだけでなく、区民団体が活躍できる仕組みを構築していただきたいと思います。例えば、区民と職員の協働によって、イベントの立ち上げなどが考えられるのではないのでしょうか。

A：様々な事象に対して受け止められる庁舎整備を考えています。区民団体が活躍できる仕組みの構築については、ソフト面の課題ではありますが、今後検討予定です。